

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立西が岡小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和3年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日

令和3年5月27日(木)

#### 3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

#### 4 本校の参加状況

① 国語 44人

② 算数 44人

#### 5 留意事項

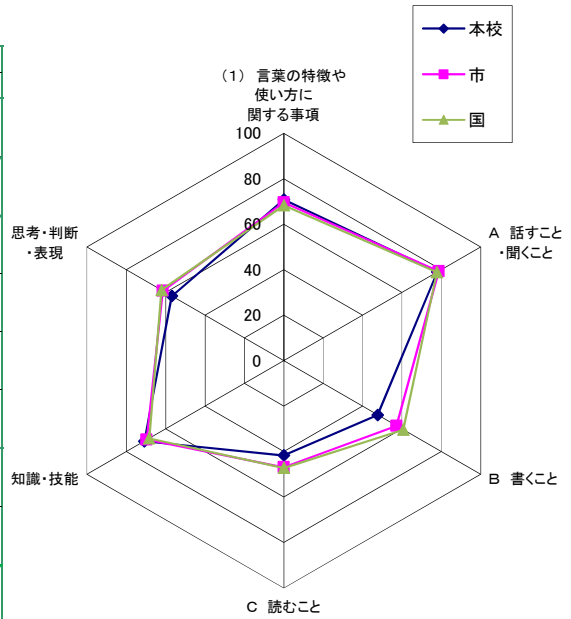
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

| 分類  | 区分                 | 本年度  |      |      |
|-----|--------------------|------|------|------|
|     |                    | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | (1) 言葉の特徴や使いに関する事項 | 70.8 | 69.6 | 68.3 |
|     | (2) 情報の扱いに関する事項    |      |      |      |
|     | (3) 我が国の言語文化に関する事項 |      |      |      |
|     | A 話すこと・聞くこと        | 78.0 | 78.7 | 77.8 |
|     | B 書くこと             | 47.7 | 57.3 | 60.7 |
|     | C 読むこと             | 41.7 | 46.9 | 47.2 |
| 観点  | 知識・技能              | 70.8 | 69.6 | 68.3 |
|     | 思考・判断・表現           | 56.8 | 61.4 | 62.1 |
|     | 主体的に学習に取り組む態度      |      |      |      |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

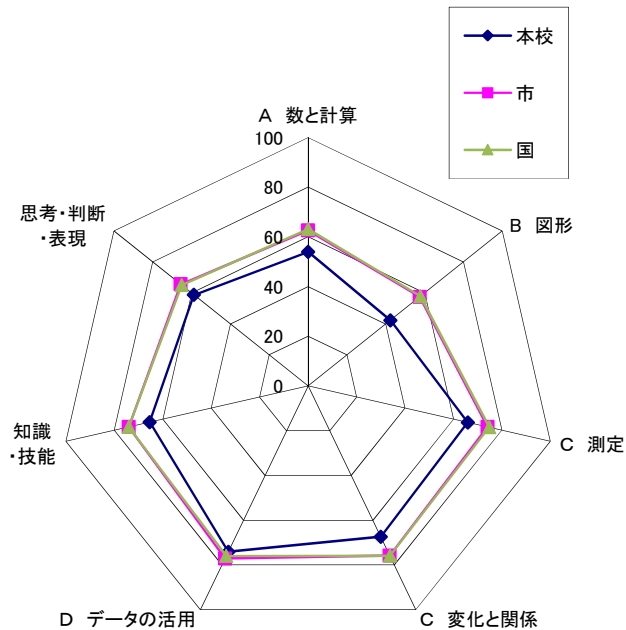
| 分類・区分                  | 本年度の状況                                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 言語の特徴や<br>使いに関する事項 | 平均正答率は、全国平均よりやや上回っている。<br>○ 漢字の書き取りが、よくできている。何度も繰り返し練習する機会を設定した成果であると考えられる。<br>● 文中の主語と述語の関係や、修飾する関係を捉えることに課題が見られる。                                                                        | ・漢字を日常生活の中で適切に使うことができるように、繰り返し練習するとともに、自分が書いた文章を読み返す習慣を付け、正しい使い方を習得できるように継続して指導する。<br>・漢字を学習する際には、熟語や同音異義語に注意するなど、漢字のもつ意味を考えて文や文章を書くことを意識するように繰り返し指導する。<br>・主語と述語の関係については、伝えたいことを相手に正確に伝えるために、読み手の立場に立って主語を省略しない、主語と述語のねじれがないかなどを確認させ、自分が書いた文章を確認する習慣を低学年のうちから身に付けさせるように指導する。 |
| A 話すこと・聞くこと            | 平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。<br>○ 目的や意図に応じて、資料を使って話すことはできている。<br>● スピーチをするときに、資料を用いる目的についての理解に課題が見られる。                                                                                             | ・説明文を学習する際には、資料や写真と文章との関連を確認しながら読み進める指導を継続して行っていく。<br>・スピーチをする際には、相手や目的を意識させる。その上で、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別して話したり、聞き手の興味を引きつけるための内容にあった資料を吟味したりするように、学習以外の場面でも実践していく。                                                                                                        |
| B 書くこと                 | 平均正答率は、全国平均より大幅に下回っている。<br>● 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られる。<br>● 目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では、18.2%の児童が無回答だった。 | ・教科書の文章を繰り返し読むことで、優れた文章に触れ、それを真似することで、自分の表現に生かせるように指導する。<br>・今後も、文章全体の構成や展開の仕方について理解を深めるため、作文を書く際には、構成メモを書いてから文章を書かせるようにする。<br>・文章を書く活動に慣れるために、テーマや条件を決めて短い文を書く活動を定期的の実施する。<br>・自信をもって自分の考えを自分の言葉で表現できるように、自己肯定感を高める指導をする。                                                    |
| C 読むこと                 | 平均正答率は、全国平均より下回っている。<br>○ 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することはよくできている。<br>● 目的を意識して、必要な情報を見つかったり、中心となる語や文を見つけて要約したりすることに課題が見られる。<br>● 目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けながら読むことに課題が見られる。               | ・物語文では、出来事や人物の行動に線を引きながら読み進めるなど、出来事と人物の心情との関連に注意して読ませる指導を日々の授業で継続して行っていく。<br>・説明文では、序論・本論・結論に分け、文章全体の構成に着目しながら要点をまとめたり、文章構成図に沿って内容を整理しながら何を論じているのか確認したりするようにする。<br>・説明文では、読む目的を明確にし、必要な情報を見付けるために、文章中の言葉と図表などの言葉を線で結び付けるなど、関係を視覚的に捉えて読むことができるようにする。                           |

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

| 分類 | 区分            | 本年度  |      |      |
|----|---------------|------|------|------|
|    |               | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | A 数と計算        | 54.0 | 62.6 | 63.1 |
|    | B 図形          | 42.4 | 57.5 | 57.9 |
|    | C 測定          | 65.9 | 74.1 | 74.8 |
|    | C 変化と関係       | 67.4 | 75.8 | 75.9 |
|    | D データの活用      | 74.1 | 77.1 | 76.0 |
| 観点 | 知識・技能         | 65.4 | 74.1 | 74.1 |
|    | 思考・判断・表現      | 58.8 | 65.6 | 65.1 |
|    | 主体的に学習に取り組む態度 |      |      |      |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分   | 本年度の状況                                                                                                                                    | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                    |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A 数と計算  | 平均正答率は、全国平均より下回っている。<br>○ 余りのある除法の商と余りを基に、日常生活の場面に即して判断することは、70.5%の児童が正解し、比較的よくできている。<br>● 求め方やその理由を説明する問題では、式や文を用いて自分の考えを記述することに課題が見られる。 | ・余りのある除法の結果を日常生活の問題場面に照らし合わせて妥当かどうか判断し、その判断について話し合う活動を通して友達のような考えに触れることで、より実感できるような指導を継続する。<br>・問題場面を適切に理解できるようにするために、具体物进行操作したり、絵や図を書いたりしながら、立式した理由を説明したり、話し合ったりする時間を確保する。 |
| B 図形    | 平均正答率は、全国平均より15.5%下回っている。<br>● 三角形の面積、複数の図形を組み合わせた図形の面積の求め方についての理解に課題が見られる。                                                               | ・底辺と高さの関係など、図形のどこの長さに着目すると面積を求めることができるか必要な情報を選び出す活動を繰り返し練習することで図形の面積の求め方の定着を図る。<br>・方眼のマス目を数えたり、図を切って変形してから面積を求めたりするなどの活動を取り入れることで図形の感覚を養う。                                 |
| C 測定    | 平均正答率は、全国平均より下回っている。<br>○ 条件に合う時刻を求める問題は、84.1%の児童が正解し、比較的よくできている。<br>● 求め方やその理由を説明する問題では、式や文を用いて自分の考えを記述することに課題が見られる。                     | ・道のりや面積を求める際には、今までに学習した基礎的内容を確認する場面を継続して取り入れる。<br>・基礎基本の定着を図った上で、一人一人が筋道を立てて考えられるようにする。また、話し合う活動を通して、友達のような考え方に触れる機会を作り、自分のものとして取り入れられる場を設定する。                              |
| C 変化と関係 | 平均正答率は、全国平均より下回っている。<br>○ 道のり・時間・速さの関係について理解している。<br>● 速さを求める除法の式と商の意味については、理解が不十分である。                                                    | ・道のり・時間・速さを求める練習を継続して行う。<br>・速さの比べ方には、時間か道のりのどちらかをそろえて比べるという見方をしっかりと身に付けさせる。日常生活の場面と関係付けて考えたり、図を用いて考えたりしながら、商の意味を理解して判断するように習慣付け、速さのイメージをもつことができるようにする。                     |

|          |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                           |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| D データの活用 | <p>平均正答率は、全国平均とほぼ同じである。</p> <p>○ 棒グラフから数量を読み取ったり、読み取って分かったことから、それらの関係を考察したりすることが、よくできている。</p> <p>● 帯グラフに示されているデータを比較し、割合を求める問題では、式や文を用いて自分の考えを記述することに課題が見られる。</p> | <p>・今後も社会科など他教科においても、様々なグラフを読み取る学習を継続して行う。</p> <p>・他教科、日常生活においても、問題に感じることや改善したいことなどに対して、観点を決めて目的に応じて適切なデータを収集、分析し、表現の方法を考える活動を行っていく。実態を的確に把握し、そこから解決策を見出すような活動の場を設けことで、グラフの表現の良さに気づき、生活や学習に生かせるようにする。</p> |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 宇都宮市立西が岡小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」の問いでは、82.6%の児童が肯定的な回答をしており、全国・県の平均よりも高い傾向にある。今後も児童一人一人がよさを認め合い、自己肯定感を育むことのできる学級経営をしていく。

●「学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」の問いでは、30分～1時間と答えた児童が一番多く、全国・県平均よりも学習時間が少ない傾向にある。土日の学習時間についても、0分～30分が一番多く、家庭での学習時間が少ない。

学校での授業だけではなく、家庭でも学習時間を確保できるように呼びかけるとともに、家庭での学習について、方法や内容などを紹介するなど、意欲的に取り組めるよう支援していく。

●「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の問いでは、全体の26.1%の児童が当てはまらなと回答している。ドリルやテストで間違えた問題を解き直すことや、学校で学習したことをもう一度ノートにまとめること、学校で学習している単元と関連のある単元を復習すること等を勧め、繰り返し学習することで、学習内容が定着するように指導していく。

○「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか」の問いでは、89.2%の児童が当てはまると回答している。また、「授業の内容はよくわかりますか」の問いでは、国語・算数ともに91.3%の児童が肯定的な回答をしている。これは、習熟度別の学習を取り入れ、個に応じた指導をしてきた成果であると考えられる。引き続き、一人一人の課題を見いだし、個に応じた学習指導をしていく。

## 宇都宮市立西が岡小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                    | 取組の具体的な内容                                                                                                                                                                                   | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習意欲を高める指導の工夫             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味を高める導入を工夫する。</li> <li>○体験的な活動や課題解決的な学習を積極的に取り入れる。</li> <li>○自力で課題解決にあたる時間を確保する。</li> <li>○状況に応じた学習形態を工夫する。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語・算数ともに、「勉強は好きだ」「大切だ」「よく分かる」「役に立つ」「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」と肯定的に回答している児童の割合は、全国・県の平均を上回っており、学習に対する興味・関心、学習への意欲が高い。</li> <li>・国語では、記述式問題の正答率が全国・県の平均を下回っている。また、算数では、言葉や数を用いて考察したことを文章で記述する問題の無回答率が高く、全国・県の平均を上回っている。書いた意見文などについて、友達と交流する場を設け、互いの工夫や良い点を認め合い、自分の学習を振り返ることを通して、書くことへの意欲を高める必要がある。</li> </ul>                                                                                                          |
| 分かる授業を目指した授業力の向上と基礎・基本の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「西が岡スタイル(つかむ、考える・つなぐ、まとめる、ふりかえる)」を取り入れた授業を実施し、学習内容の定着を図る。</li> <li>○個に応じた支援(児童の実態に応じた言葉掛け、学習方法、教材など)を工夫する。</li> <li>○単元や学期ごとに復習する場を設定する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では、「漢字を文の中で正しく使う」、「思考に関わる語句の使い方を理解して文章の中で使う」設問では、正答率が全国・県の平均を上回っている。</li> <li>・算数では、「棒グラフから数量を読み取る」設問では、正解率が全国・県の平均を上回るが、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」の領域で正答率が全国・県・市の平均を下回った。分かる授業の実現のため、視覚的に捉えたり、具体的な場面に対応させたりしながら基礎・基本の理解を深め、活用できるように指導していく必要がある。</li> <li>・「学習内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と肯定的に回答した割合は、全国・県の平均を下回っている。今後は、自らの学習活動を振り返り、次につなげることができる時間を大切に、児童が主体的に学ぶ態度を養うことで学習内容の定着を図っていく。</li> </ul> |

|                               |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>家庭学習の習慣化を図り、基礎学力の定着を図る</p> | <p>○学年毎に適切な分量・内容の宿題を提示し、家庭学習の習慣化を図る。<br/> ○「学習チャレンジ週間」を実施し、家庭と連携して学習習慣の定着と意欲の向上を図る。<br/> ○「リレー自主学習」に取り組むことで自主学習の活性化を図るとともに、友達の学習内容を参考にできるようにする。<br/> ○学年・学級懇談会や学年だより等あらゆる機会を通じて、保護者の児童への声掛けがやる気を育てることを知らせる。</p> | <p>・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答している割合は、全国・県平均とほぼ同じだった。<br/> ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間勉強をしているか」の設問に、1時間以上と回答した児童の割合は45.6%、また「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしているか」の設問に、1時間以上と回答した児童の割合は、47.9%といずれも半数に満たない。これは全国・県の平均を下回っている。本校では6年生の家庭学習時間の目安は70分となっている。宿題をやる習慣は身に付いているので、今後は学習内容の充実を図るため、様々な取り組みを通じて、また家庭との連携を図って個に応じた指導を行っていく。</p> |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|